

県外学校視察報告

視察校

- (1) 東京都立園芸高等学校
- (2) 東京都立大江戸高等学校

(1) 東京都立園芸高等学校

① 学校概要

- ・ 全校生徒は66名
(うち、農業科目のみを履修する社会人専修生6名)
- ・ 入試倍率は1倍を切り、全入状態
- ・ 都立新宿山吹高校通信制と連携して3年間で卒業が可能(現在2名が利用)
- ・ 卒業後の進路は、1/3が進学、2/3が就職

②UDL(Universal Design for Learning) の取り組み

・ICTの活用

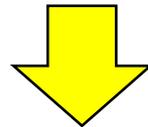
→集会、授業等でパワーポイントを活用

※東京都は、1教室に1台のプロジェクターが支給されている

・外部機関との連携

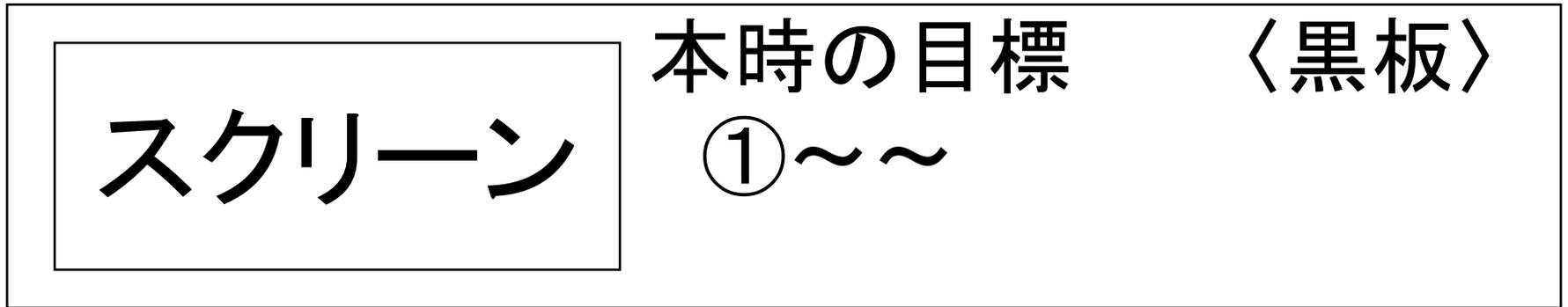
→日野市立第三小学校の授業見学

→LITALICOジュニアと連携した模擬授業

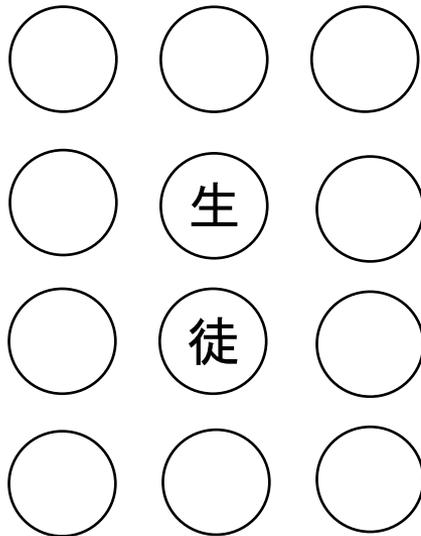


授業内容の視覚化

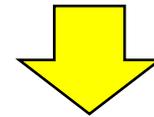
参考:授業の様子



教卓



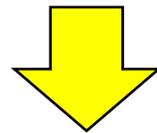
板書時間の短縮



机間指導やまとめ
の時間の増加

③学び直しの取り組み

- ・英語、数学、国語の授業における「マナトレ」の活用
 - 全授業時間の最初の10分間で実施
- ・「0時間目」の活用
 - 週4日「0時間目」を設定し、学び直しの授業を実施（希望制）



基礎的知識の体系化

参考:「マナトレ」の内容

STEP 1 英語 10-1
10級 アルファベット (A~M)
 ~英語の勉強がスタートできる~

学習日: 月 日 目標時間 10分

組 番 名前:

外国の人が日本語を勉強するとき、まずはじめに覚えるのはやっぱり「あいうえお」から始まる五十音です。私たちがアルファベットの形・読み方・単語内での主な発音を再確認しましょう。

●AからMまでのアルファベット大文字・小文字 (大文字・小文字の2種類がある。)

A a	B b	C c	D d	E e	F f	
エイ	ビー	シー	ディー	イー	エフ	
G g	H h	I i	J j	K k	L l	M m
ジー	エイチ	アイ	ジェイ	ケイ	エル	エム

●最初はうすい字をなぞりながらアルファベットの形を覚えましょう。最後に、わくの中のあいている場所になぞったものをまねして自分で1回書いてみましょう。

エイ	主な発音	A	A	A	A	A
A a	ア	a	a	a	a	a
エイ	エ	e	e	e	e	e

STEP 1 国語 10-1
10級 ひらがな表記
 目標時間 10分

学習日: 月 日 正解数 間/14問

組 番 名前:

★★ポイント★★ まじか
 間違いやすいひらがな表記の一覧

③のグループ		⑥のグループ	
おとうさん (お父さん)	×おとおさん	こおり (氷)	×こうり
どうとく (道徳)	×どおとく	とおる (通る)	×とうる
とうだい (灯台)	×とおだい	ほのお (炎)	×ほのう
おうぎ (扇)	×おおぎ	おおきい (大きい)	×おうきい
おはよう	×おはよお	とおい (遠い)	×とうい
とう (塔)	×とお	とお (十)	×とう
④のグループ		⑤のグループ	
じめん (地面)	×ぢめん	はなぢ (鼻血)	×はなじ
ぬのじ (布地)	×ぬのぢ	ちぢむ (縮む)	×ちじむ
せかいじゅう (世界中)	×せかいぢゅう	そごぢから (底力)	×そごじから
		まぢか (間近)	×まじか

STEP 1 数学 10-1
10級 加法(+)^①
 2桁+2桁

学習日: 月 日 目標時間 10分

組 番 名前:

★★ポイント★★

●筆算の線に並んだ数どうしてし算

A 整数のたし算の筆算は、位を線にそろえて書く。

B まず、一の位を計算する。

C 次に十の位を計算する。

例題 $16 + 32 = 48$

16	+ 32	= 48
16	+ 32	48
16	+ 32	48

一の計算をしなさい。

(1) $11 + 13$ (2) $42 + 23$

- ・基礎編
- 10級~7級
- ・1枚→10分
- ・1冊→40枚

本校で実践できること

①視覚に訴える授業の実践 〈UDLの取り組み〉

- パワーポイント、映像の活用
→ 単元の一部だけでも
- 学習プリントの工夫
→ 図や画像の利用
フォントの工夫
空欄への番号記入など

②5分間課題の体系化 〈学び直しの取り組み〉

- 実施時間帯の検討
 - 授業外か、授業内か
- 実施内容の検討
 - 大まかな年間計画を立て、基礎学力を体系的に身につけさせる
- 実施後の扱いの検討
 - 保存用ファイルの配布
 - 定期考査問題・平常点に組み込むなど

③課外授業(3修制0校時以外)の実施

- ・進学、就職などの目的別に課外授業を設定(希望制)

まとめ:本校で実践できること

- ①授業内容の視覚化
- ②5分間課題の体系化
- ③課外授業の実施